

ボツワナ共和国月報(2019年1月)

主な出来事

【内政】

- コシ元情報保安局長逮捕
- マシシ大統領のBDP党首としての正当性に関する裁判
- 国内の電力不足

【外政】

- マシシ大統領世界経済フォーラム(WEF)年次総会に参加
- ベナン, ナミビア及びトルコの大使が信任状を奉呈
- ベルギー, チャド及びチリの大使が信任状を奉呈

【経済】

- ルカラ・ダイヤモンド社, 127カラットのダイヤモンドを発見
- 政府, プラの通貨バスケット比重を維持

【文化】

- 空手家が躍動する
- 国家スポーツ委員会議長の辞職

※当地メディア記事等を任意に引用した内容です。

【内政】

○ コシ元情報保安局長逮捕

アイザック・コシ(Isaac Kgosi)前情報保安局(DIS)局長が, 当地空港で休暇から戻ったところを逮捕された。逮捕の具体的理由はわかっていないものの, 汚職等の容疑がかけられていると見られている。逮捕される際「政府を転覆させる」という発言をした。(各紙報道)

○ マシシ大統領のBDP党首としての正当性に関する裁判

ボツワナ民主党(BDP)ロバツェ選挙区の国会議員予備選挙で敗れたカマル・ジェイコブズ(Kamal Jacobs)氏が, 同選挙区の予備選挙のやり直しと, マシシ大統領のBDP党首としての正当性につき緊急裁判を起こした件につき, 16日, ハボロネ高裁は緊急性が認められない, また, 憲法上大統領に対しては公式的な立場及び私的な立場の両方において法廷に出頭する義務はなく, 第2の被告とされていたマシシ大統領を法廷に出頭させることはできないとし, 訴えを棄却した。(17日:デイリー・ニュース紙)

○ 国内の電力不足

モルプレB石炭火力発電所は, 4ユニットのうち2ユニットのみしか稼働しておらず, また非常用発電電源(ディーゼル発電機)も第3四半期は稼働していない。国营電力公社(BPC)の2つの主な

発電所であるモルプレ A(132MW)及びモルプレ B(600MW)のタービンが故障中であるため、ボツワナ国の需要電力量約600MW を満たすことが出来ていない。国営電力公社及び担当省は、ボツワナが深刻な電力不足に直面する旨発表した。また修理業者は、どのように修理してよいか手がかりがない状態にあり、復旧の見通しも立っていない。モラレ・エネルギー安全保障大臣は、2018年の電力需要が約570MW であり、モルプレ B 発電所では(故障なく予定通り発電されれば)平均で需要の79%を満たす発電がなされるが、2018年11月には、発電量が需要の38%に減少したことを明らかにした。(1月18-24日:ビジネスウィークリー&レビュー紙及び12月29日:サンデー・スタンダード紙)

【外交】

○ マシシ大統領世界経済フォーラム(WEF)年次総会に参加

マシシ大統領及びケネウエンド投資通商産業大臣はダボスで開催された世界経済フォーラム(通称ダボス会議)にボツワナから初めて参加した。マシシ大統領はサイドラインでカガメル・ルワンダ大統領、ラマポーザ・南アフリカ大統領及びムセベニ・ウガンダ大統領と会談を行った。同行したケネウエンド大臣は、リアム・フォックス英国・国際貿易大臣及びロブ・デイビーズ南アフリカ・貿易産業大臣と英国のEU離脱問題について協議を行った。ケネウエンド大臣は「ボツワナの牛肉が英国に輸出できなくなるかもしれないので、我々の利益をできるだけ守るよう努力している」と述べた。(28日:デイリー・ニュース紙及び28日:モニター紙)

○ ベナン、ナミビア及びトルコの大使が信任状を奉呈

28日、ベナンのエリック・サイゾノウ(Eric Saizonou)大使、ナミビアのアッセル・カペレ(Asser Kapere)高等弁務官及びトルコのメルテム・ブユッカラク(Meltem Buyukkarakas)大使がマシシ大統領に信任状を奉呈した。ベナン大使は南アフリカに常駐し、ボツワナを兼轄するが、他2名はハボロネに常駐する。(29日:デイリー・ニュース紙)

○ ベルギー、チャド及びチリの大使が信任状を奉呈

29日、ベルギーのディディエ・ファンデルハッセルト(Didier Vanderhasselt)大使、チャドのサゴール・ユサーフ(Sagour Youssouf)大使及びチリのフランシスコ・フルタード(Francisco Furtado)大使はマシシ大統領に信任状を奉呈した。3名全員が南アフリカからボツワナを兼轄する。(31日:デイリー・ニュース紙)

【経済】

○ ボツワナの主要経済指標

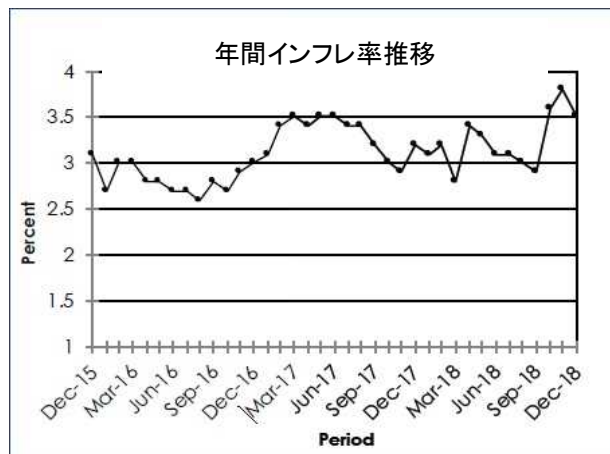
1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2018年第3四半期の GDP は489億1230万プラとなり, 第2四半期(469億6740万プラ)と比べて0.5%増となった。(2017年GDP合計は1801億1270万プラ)



2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2018年12月は3.5%(11月は3.8%)。



3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2019年1月31日

1プラ=0.094米ドル

1プラ=1.244南ア・ランド

1プラ=10.35円

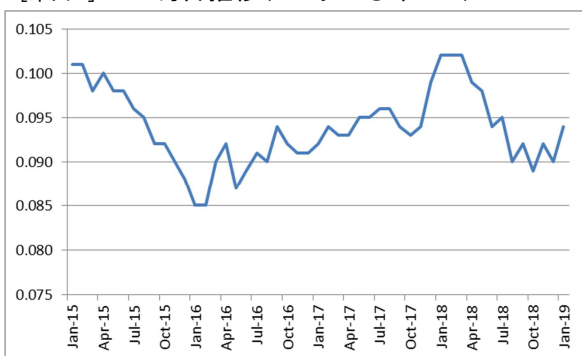
2018年12月31日

1プラ=0.090米ドル

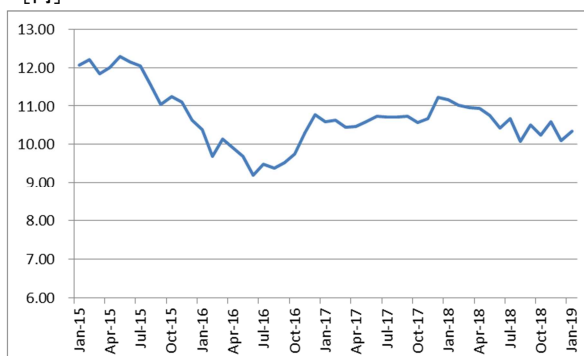
1プラ=1.288南ア・ランド

1プラ=10.09円

[米ドル] 為替推移(1プラ=〇米ドル)



[円] 為替推移(1プラ=〇円)



○ ダイヤモンド産業

1) ルカラ・ダイヤモンド社, 操業コストを削減予定

ルカラ・ダイヤモンド社(カナダ)は, カロウェ鉱山の地下鉱脈の調査を完了し, 今年, 地盤・水文地質学的な掘削プログラムや経済的な調査などを実施するための予算を1480万米ドル計上した。また同社は効率化, 生産性の向上等により, 今年のカロウェ鉱山での操業コストを15%以上削減し, 30~32万カラットのダイヤモンドを販売する予定である。(11日:ボツワナ・ガーディアン紙, メヒ紙他)

2) デビアス社, 南ア・ベネチア鉱山での生産を開始予定

デビアス社は, 南アフリカのベネチア地下鉱山での生産を一年早く開始し, 2021年までに370万カラットのダイヤモンドを生産することを目指す予定である。ベネチア鉱山はデビアス社が南アに所有する最後の鉱山であり, 露天掘りから地下鉱山での生産に移行しようとしており, 2022年からの生産を予定していた。(11日:ボツワナ・ガーディアン紙)

3) ルカラ・ダイヤモンド社, 127カラットのダイヤモンドを発見

ルカラ・ダイヤモンド社は, カロウェ鉱山で127カラットのダイヤモンドを発見したと発表した。カロウェ鉱山では, 操業を開始した2012年から100カラットを超えるダイヤモンドが129個発見されており, その内, 300カラットを超えるダイヤモンドが12個発見されている。(16日:ボツワナ・ガゼット紙)

○ エネルギー・資源

1) 数十億プラの石炭プロジェクトの開始予定

Shumba Energy Coal Mine社のモロシワ氏によると, 2021年に数十億プラ規模の石炭生産プロジェクトが開始され, 900名の雇用を創出する予定である。同プロジェクトはセカクワナとシャラクエの2つの区画に分けられ, シャラクエでは300MWの発電所及び地下鉱山を含む120億規模のプロジェクト, セカクワナでは露天掘り鉱山の20億プラ規模のプロジェクトとなり, 年に25億トンの石炭が輸出される予定である。(16日:デイリー・ニュース紙)

2) Tlou Energy 社, レセディ・コールベッドメタン(CBM)プロジェクトを再開

Tlou Energy社は, レセディCBMプロジェクトにおける生産のための掘削を再開した。同社によると, 生産のための掘削が完了でき次第, 水抜き及び生産試験を実施する予定である。同社は, 昨年政府からの100MWのCBM発電に係るプロポーザル要請(Request for Proposal)に回答しており, 政府からの返答を待っている。(21日:モニター紙)

3) A-Cap 社, Marlborough Nickel への投資を取消し

A-Cap社はオーストラリアのMarlborough Nickelへの投資を取り消した。A-Cap社はボツワナ証券取引所の上場企業であり、2016年9月にレタカネ・ウラン・プロジェクトの鉱業ライセンスを取得しているが、未だ同プロジェクトにおける鉱山の開発を開始していない。

○ 政府, プラの通貨バスケット比重を維持

7日, ボツワナ銀行は, 本年1月1日付けでプラの通貨バスケットの比重を南ア・ランド45%, 特別引出権(SDR)55%に維持する一方で, クローリング率を0.3%に変更することを発表した(当館注: 主要貿易相手国とボツワナとのインフレ率格差(予測値)を考慮に入れて, 為替相場を安定化させるために, あらかじめ決定した固定の変化率で為替相場を変化させる。クローリング率はその変化率をいう)。(9日: デイリー・ニュース紙)

【文化】

○ 空手家が躍動する

ボツワナのトップ空手家オフエンツェ・バクワディ(Ofentse Bakwadi)は2020年の東京オリンピックでボツワナを代表する最初の空手家になることを夢見ている。予選会に参加するための資金確保がネックで, 昨年#Road2Tokyo2020 というファンドレイジングキャンペーンを始めた。そうしたところ, ボツワナオリンピック協会から資金を得ることができ, 本年10月にサンディエゴで開催されるワールド・ビーチ・ゲームにもう一人の空手家エントレ・マウングワと共に参加することになった。また, 二人の空手家はカーボヴェルデのサル島で開催されるアフリカ・ビーチ・ゲームへの出場権も得ることができるだろう。(11日: デイリー・モニター紙)

○ 国家スポーツ委員会議長の辞職

レイケレツェン・ボツワナ国家スポーツ委員会議長は, 一身上の理由により辞職した。(25日: デイリー・ニュース紙)